報告事項２－１

2021 年度 事業計画

Ⅰ．はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

Ⅱ．九州将来ビジョン実現に向けた最重点施策・・・・・・・・・ 3

Ⅲ．理事会・総会等の主要スケジュール　・・・・・・・・・・・ 7

Ⅳ．具体的取り組み

　１．委員会　　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

　２．九州地域戦略会議　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

　３．懇談会等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

　４．事務局　　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

（付１）海外調査団・経済交流訪問団派遣等　・・・・・・・・・ 19

（付２）関連団体の活動　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20

一般社団法人
九州経済連合会
Kyushu Economic Federation

Ⅰ　はじめに

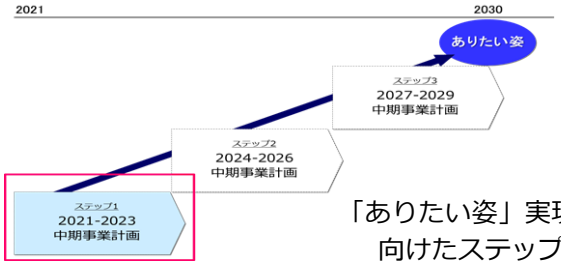
2021 年、本会は創立 60 周年を迎える。そして、私たちは 2030 年の九州のありたい姿を描き、「九州将来ビジョン」を策定した。これからの 10 年間は、「ありたい姿」に掲げる**「Ⅰ．成長エンジン」「Ⅱ．幸せコミュニティ」「Ⅲ．自立型広域連携アイランド」**の実現に向けて、九州の課題を本会の役割やそれぞれの関連性に基づき優先的な項目に絞り込み、原則として３年ごとに「中期事業計画」を策定して、３ステップで取り組んでいく。

「年度事業計画」は「中期事業計画」を踏まえ、**「九州から日本を動かす」**気概で最重点施策に注力しつつ、その時々の環境変化に適宜対応しながら展開していく。

本会の役割

九州経済発展のための戦略的産業の成長促進に向けたリーダーシップの発揮

全会員の成長のための取り組み促進に向けたガバナンス（統治）機能の発揮



「ありたい姿」実現に向けたステップ

1　九州将来ビジョン

■2030 年のありたい姿

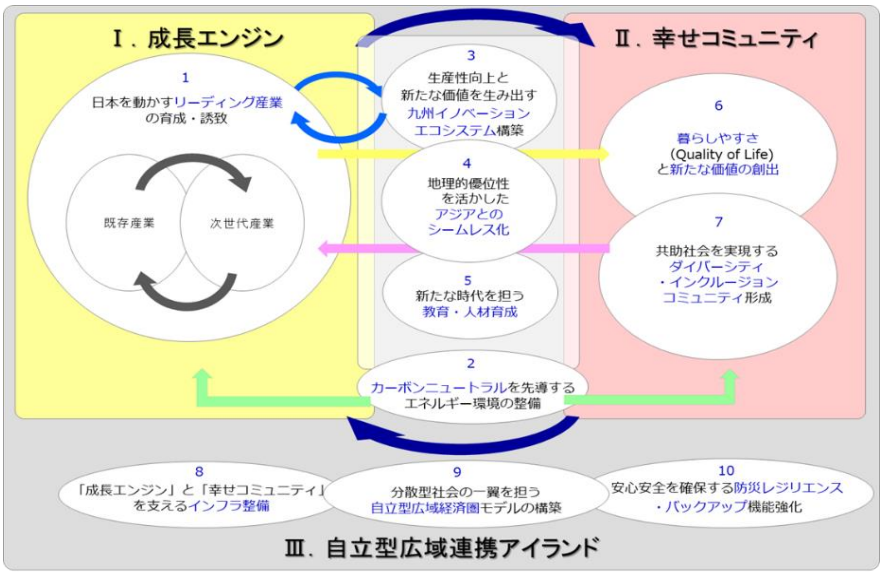
共生・共感・共創アイランド九州　～成長と心の豊かさをともに～

Ⅰ　**新たな時代の成長エンジン**
～「九州から日本を動かす」気概と情熱で地域経済社会の先進モデルを確立～

Ⅱ　**心の豊かさを成長につなぐ幸せコミュニティ**
～ 多様な人材を活かし、新たな価値創出を促す ～

Ⅲ　**自立型広域連携アイランド**
～ 九州のポテンシャルを活かし、強固な連携で成長と心の豊かさを支える ～

■実現に向けて取り組むべきテーマとその関係図（イメージ）



2 私たちのアクション［中期事業計画（2021～2023 年度)］

第１ステップとなる 2021～2023 年度の３年間は、「ありたい姿」実現に向けた重要度や緊急度に鑑み、九州のポテンシャルを活かして、新たな価値創出やコミュニティ形成を優先して目指していく。

しかしながら、昨今のコロナ情勢において地域の復興が急務であることを踏まえ、まずは、コロナで大きな影響を受けている企業や産業の復活に資する活動を展開する。**→ 戦略１「地域共創 with コロナ」**

その上で、コロナ収束後速やかに成果が出せるように**「リーディング産業育成・誘致」「グリーン」「スマート/DX」「ダイバーシティ」**を大きな取り組みの柱として、ありたい姿の実現に向けて積極果敢にチャレンジしていく。

→ 戦略２「ありたい姿実現に向けたチャレンジ」

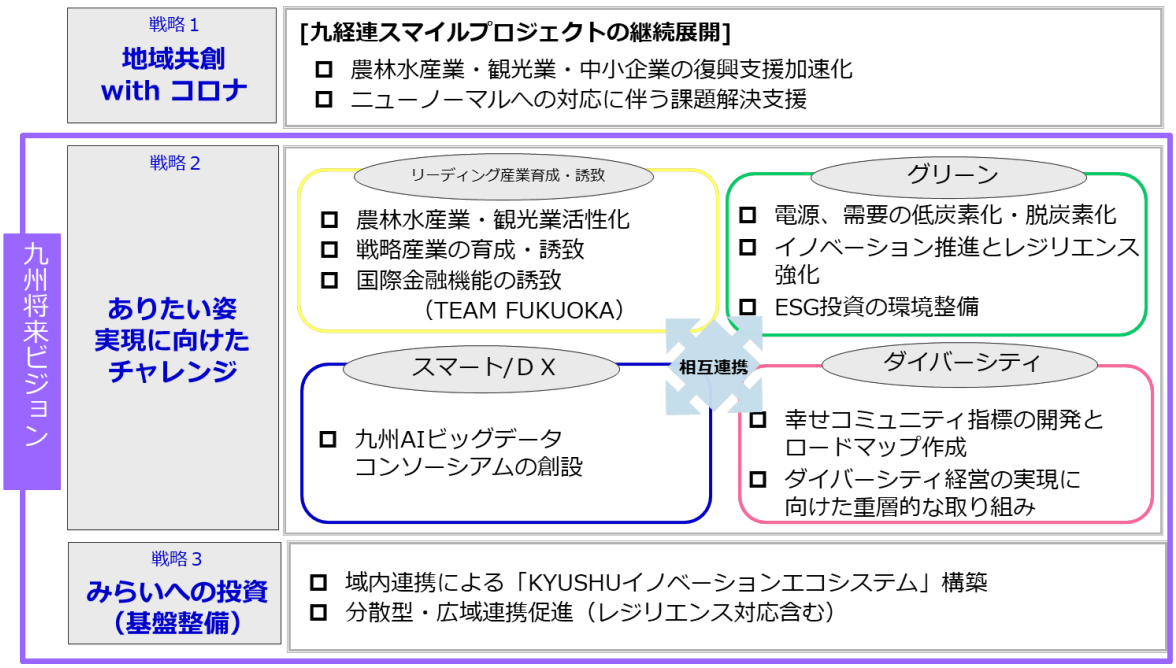
さらに、成果が出るまでに期間を要する基盤整備については、2030 年度の実現に向けた未来への投資として現段階から着実に取り組んでいく。

→ 戦略３「みらいへの投資（基盤整備）」

■基本方針

“九州から日本を動かす”新たな価値の創出

■取り組み戦略と私たちのアクション



Ⅱ　九州将来ビジョン実現に向けた最重点施策

戦略１　地域共創 with コロナ

農林水産業・観光業・中小企業の復活支援加速化

○ 生産者支援のための食品販売促進事業（クラウドファンディング等）
○ 特定地域とのアライアンスによる「九州温泉未来図」事業の遂行
○ 九州発アウトバウンドの活性化
○ 海外販路の共通化、海外展開ノウハウのプラットフォーム構築

KPI：九州と RCEP 参加国との貿易総額　5.8 兆円（輸出･輸入合計）
※2019 年水準の回復

ニューノーマルへの対応に伴う課題解決支援

○ 共助の輪をつなぐ施策の拡充（各国物産フェアによる留学生支援等）

戦略２　ありたい姿実現に向けたチャレンジ

リーディング産業育成・誘致

農林水産業・観光業活性化

[農林水産業]

KPI：輸出額 1,400 億円（九州の港等からの一次産品・食品輸出額）

○ 農業の労働力支援に係る事例等の情報収集、ならびに JA や農林中金など農業関連団体との連携･協働により地域農業を地域企業で支える仕組みづくりの立案　**KPI：労働力支援スキームの作成**

○「九州の食輸出協議会」を活用した生産者と地域商社のマッチング・販路開拓支援・商談会の実施　**KPI：成約件数 20 件以上**

○ 中国･山東省輸入博覧会(国際委員会･九州経済国際化推進機構との協働)や上海輸入博覧会への共同出展による輸出拡大　**KPI：成約件数 10 件以上**

○ 研修会を通じた、既存の九経連モデル木造ビル設計図の製材、接合金具、内装・外装建材等を詳細に示したバージョンアップとそれを活用したセミナー、企業トップセールスの実施　**KPI：新規企業トップセールス 15 社以上**

[観光業]

KPI：第二期九州観光戦略の観光指標に準じる
※九州観光推進機構と当年度目標修正値を協議中

○「ツール・ド・九州・山口 2023」開催に向けた実務の遂行

戦略産業の誘致・育成

KPI：提言取りまとめ

○ 九州経済調査協会・各県の産業振興政策・企業誘致策のヒアリング、連携の可能性調査

国際金融機能の誘致（TEAM FUKUOKA）

KPI：政府への要望活動実施

○ 制度、ビジネス環境、生活環境、プロモーションに関する 12 の課題対応に向けた福岡市および福岡地域戦略推進協議会との連携活動の実施

○ MOU ネットワーク、国際部所管の会議体等を活用した活動周知および支援

グリーン

カーボンニュートラル実現に向けた環境整備

KPI：アライアンス 1 件

○ ESG 投資・グリーン調達の拡大に向けた環境整備

○ 脱炭素社会の実現に向けた環境整備

○ 国等への要望活動

○ 再生可能エネルギーの産業化推進（地熱、海洋、水素）

スマート／DX

九州 AI ビッグデータコンソーシアムの創設

KPI：報告書取りまとめ

○ 九州 AI ビッグデータコンソーシアム創設に向けた課題整理

○ サイバーセキュリティ推進 WG の運営とセミナー、勉強会の継続開催

○ サイバーセキュリティ地域コミュニティの拡大に向けた「地域 SECUNITY」事業への支援ならびに参画

ダイバーシティ

幸せコミュニティ指標の開発とロードマップ作成

KPI：指標の見極め・関係者合意・ロードマップ作成

○ 幸福度指標の調査・研究による九州のありたい姿に相応しい指標の検討

○ 幸福度向上に向けた課題の洗い出しとロードマップ作成

ダイバーシティ経営の実現に向けた重層的な取り組み

KPI：女性活躍の課題や阻害要因の体系的整理完了

○「KYUSHU NEXT」開催による課題抽出と解決策の共有

○ WE-Net とのアライアンスによる女性活躍課題の抽出

○ 国・自治体連携による待機児童問題の課題抽出

○ 女性活躍ロールモデルの定期的な情報発信

戦略３　みらいへの投資（基盤整備）

域内連携による「KYUSHU イノベーションエコシステム」構築

[企業との連携]　**KPI：企業×ベンチャーマッチング 10 件**

○ 会員企業×ベンチャーの適時マッチング支援

○ FGN※1、KVM※2、StartupGoGo と連携したオープンイノベーション支援

※1: Fukuoka Growth Next、※2: 九州･山口ベンチャーマーケット

[スタートアップ]

KPI：グローバル拠点都市 3.8 億円、推進拠点都市 1.8 億円（申請額）

○ 拠点チームメンバーとして、産学官連携によるスタートアップ企業の創出・成長支援

○ JST※拠点都市環境整備型プログラムへ外部協力機関として参画。主幹機関とともにプログラムの遂行・支援　※：科学技術振興機構

○ 九州の各大学シーズに対する GAP 資金投入の拡大の支援

KPI：ベンチャー振興会議 GAP 資金最大 8,400 万円（予定）

○ 企業ニーズ×既存大学シーズのマッチング支援　**KPI：マッチング 5 件**

[大学との連携]

○ 産学連携懇談会を通じた人材育成先進事例の発信・共有・展開

KPI：先進事例の共有・展開 3 件

分散型・広域連携促進（レジリエンス対応含む）

KPI：WG 設置による「新たな広域連携体」検討

○ 道州制に代わる新たな広域行政の全体構想作成に向けた関西広域連合事例調査等による課題の洗い出しと九州の方向性の整理

Ⅲ　理事会・総会等の主要スケジュール

2021年

4 月	九経連・経団連による意見交換会（20 日、福岡市） ※2021 年 2 月開催予定分を延期
5 月	理事会（10 日、福岡市）
	九州地域戦略会議（19 日、WEB）
6 月	定時総会、理事会（7 日、WEB 併催・福岡市）
10 月	理事会、理事・審議員合同会議、新入会員交流会（福岡市）
	西日本経済協議会 総会（20 日、熊本市）
	九州地域戦略会議（21～22 日、鹿児島県）
11 月	西日本経済協議会 要望活動（17 日、東京）
12 月	顧問会（東京）
	沖縄連携フォーラム（13 日、那覇市）

2022年

2 月	正副会長･委員長会議（福岡市）
3 月	九州経済懇談会（経団連との意見交換会）（9 日、福岡市）
	理事会（福岡市）

Ⅳ　具体的取り組み

1　委員会　（◆：ビジョン実現に向けた最重点施策）

※ビジョン実現のため、適宜委員会や事務局体制見直しを行う

（1）資源エネルギー・環境委員会（事務局：産業振興部）

持続可能な世界屈指のクリーンエネルギー九州を実現するため、再生可能エネルギーの有効活用やそれに資する資金調達などの体制を整備し需要側を含めた環境先進モデルを構築して経済成長に寄与する。

中期事業計画に紐づく取り組み

① カーボンニュートラル実現に向けた環境整備 ◆

・ESG 投資･グリーン調達の拡大に向けた環境整備（九州企業の ESG 開示を促すとともに、地域金融機関等と連携し、ESG 金融に関するアライアンス組成について検討）　**KPI：アライアンス 1 件**

・脱炭素社会の実現に向けた環境整備

・国等への要望活動

・九州地域戦略会議と連携した再生可能エネルギーの産業化推進（地熱、海洋、水素）

（2）産業振興委員会（事務局：産業振興部）

「九州将来ビジョン」の実現に向け、新たな時代の地域経済社会の先進モデルを創出するとともに、産学官連携によるイノベーションおよび生産性向上･高付加価値化を図り、九州における持続的な産業育成･振興ならびに地域課題解決を目指す。

中期事業計画に紐づく取り組み

① GRP 増に貢献する付加価値の高い戦略産業の調査、誘致・育成、本社・研究開発機能やデザイン部門等の誘致 ◆

・九経調･各県の産業振興政策･企業誘致策のヒアリング、連携の可能性調査　**KPI：産業・企業調査を取りまとめて中期事業計画につなげる**

② 域内連携による「KYUSHU イノベーションエコシステム」構築 ◆

【企業との連携（オープンイノベーション）】

・Fukuoka Growth Next、九州・山口ベンチャーマーケット、StartupGoGo と連携したオープンイノベーション支援、会員企業×ベンチャーの適時マッチング支援等　**KPI：マッチング 10 件**

【スタートアップ】

KPI：グローバル拠点都市 3.8 億円、推進拠点都市 1.8 億円（申請額）

・福岡市（グローバル拠点都市）・北九州市（推進拠点都市）のチームメンバーとして、産学官連携によるスタートアップ企業の創出･成長支援
・JST(科学技術振興機構)拠点都市環境整備型プログラムへ外部協力機関として参画。主幹機関とともにプログラムを遂行・支援
・九州・大学発ベンチャー振興会議における大学シーズに対する GAP 資金投入の拡大支援 **KPI：GAP 資金最大 8,400 万円（予定）**
企業ニーズ×大学シーズのマッチング支援 **KPI：マッチング 5 件**

【大学との連携】

・産学連携懇談会を通じた人材育成先進事例の発信・共有・展開

KPI：先進事例の共有・展開３件

③ 官民データ連携・活用推進 ◆ **KPI：報告書取りまとめ**

・九州地域戦略会議における「九州 AI ビッグデータコンソーシアム」創設検討のための研究会設置および課題整理

④ 生産性向上に向けた取り組み支援

KPI：情報発信 10 件、セミナー開催 1 件、先進工場見学 1 回

・デジタル化+自動化(ロボット化)、サプライチェーンの可視化・最適化による生産性・付加価値向上に向けた取り組み支援
・Web セミナーによる生産性・付加価値向上の考え方・先進事例・支援策の発信・共有・展開
・各部･各委員会の課題や事業への DX 推進支援(ICT 利活用による課題解決)

従来からの取り組みの充実強化

① 産学連携による課題解決型先進モデル創出

KPI：先進事例の共有・展開３件

・別府市・APU（立命館アジア太平洋大学）との連携プロジェクト
・鹿児島県 mark MEIZAN 支援
・産学連携懇談会を通じた産学連携先進モデルの発信・共有・展開

② 航空宇宙産業の育成・振興 **KPI：10 年ビジョンの策定**

・九州航空宇宙開発推進協議会（九経連の関連団体）
－産学連携による航空宇宙産業の育成・振興

（3）観光委員会（事務局：観光社会基盤部）

以下の基本方針を基に、九経連ならではの観光事業を展開する。
１．コロナ禍によって変化したあらゆる観光関連の環境に即した事業執行
２．予測し得ない状況変化に対応出来る柔軟性・弾力性をもった事業執行
３．九州観光の未来を見据えた、発展性のある中長期的な視点での事業執行

KPI：第二期九州観光戦略の観光指標に準じる

中期事業計画に紐づく取り組み

① **地域への経済効果の最大化を目的とした「ツール･ド･九州･山口 2023」の開催** ◆

・第１回大会に向けた業務の遂行（大会基本計画書策定、実行委員会・運営事務局の組成、事業者公募、対 UCI（国際自転車競技連合）テクニカルガイドのドラフト作成、開催県･UCI･JCF（日本自転車競技連盟）との調整）

② **交流人口の劇的拡大のための九州・長崎 IR の誘致実現**

・九州 IR 推進協議会運営による区域認定計画書の策定（ビジネスマッチング WG による地元事業者の投資促進、観光 WG による IR 区域内観光ショーケースの作り込み）

③ **観光事業を軸にした地方創生（国内観光の活性化）**

・特定地域とのアライアンスによる「九州温泉未来図」事業の遂行（ワークシェア･エリア IT 導入、ワーケーション連携、「休み方改革」休暇の分散化）

④ **双方向交流の推進**

・九州発アウトバウンドの活性化（ステイクホルダー連携による活性化策の実行）

（4）農林水産委員会（事務局：農林水産部）

農林水産物・食品のアジア等への輸出促進や、地産地消事業による販路拡大、IoT や AI 等スマート技術を活用した労働負荷の低減や生産性向上への取り組み支援を通じて、生産者所得の増大および魅力向上を図り、九州の第一次産業の持続的発展を目指す。

中期事業計画に紐づく取り組み

① **農業研修ボランティアやアグリワーケーション等を活用した農業従事者不足を企業で支える仕組みづくり** ◆

・農業の労働力支援に係る事例等の情報収集、ならびに JA や農林中金等農業関連団体との連携・協働により地域農業を地域企業で支える仕組みづくりの立案 **KPI：労働力支援スキームの作成**

② **域外企業の九州への農業参入促進に向けた誘致活動ならびに規制緩和への取り組み**

・経団連との共催による企業の農業参入促進セミナーおよび自治体とのマッチング事業の実施 **KPI：マッチング各県２件以上**

・農業参入促進につながる規制緩和など要望活動の実施

③ **自治体や関係機関との協働によるスマート化導入支援**

・九州各県等と連携したスマート農林水産業の先進事例紹介セミナーの開催

・企業と生産者ニーズに対するソリューション提供企業とのマッチング事業の実施 **KPI：マッチング５件以上**

④「九州の食輸出協議会」等関係機関との協働による食品輸出促進ならびにMOU 等を活用した輸出国の拡大と沖縄国際物流ハブ等の活用推進 ◆

KPI：輸出額 1,400 億円（九州の港等からの一次産品・食品輸出額）

・「九州の食輸出協議会」を活用した生産者と地域商社のマッチング・販路開拓支援・商談会の実施 **KPI：成約件数 20 件以上**

・中国･山東省輸入博覧会（国際委員会･九州経済国際化推進機構との協働）や上海輸入博覧会への共同出展による輸出拡大 **KPI：成約件数 10 件以上**

・農産物･食品の生産･加工･流通における輸出課題の解決に向けた「九州沖縄経済圏スマートフードチェーンプロジェクト」（農研機構）への支援協力

・ジェトロとの共催による商談会を通じた中国、台湾向け木材（特に高付加価値材）輸出の促進

・養殖魚の輸出促進に向けた競争力確保のための課題調査と解決方策の検討、ならびに要望活動の実施

⑤「九経連木造ビル構造標準モデル」による木造・木質化ビルの普及促進を通じた国産（九州産）木材の国内利活用促進 ◆

・研修会を通じた、既存の九経連モデル木造ビル設計図の製材、接合金具、内装･外装建材等を詳細に示したバージョンアップとそれを活用したセミナー、企業トップセールスの実施 **KPI：新規企業トップセールス 15 社以上**

⑥「九州食堂」事業（社食ならびに出張販売で地産地消事業）の定着と浸透

・感染症収束までの当面の間、従来の「参加企業数の拡大」から「サービスの深化による食堂利用者の満足度向上」に軸足を置きつつ、通年事業化への糸口を探る **KPI：喫食数前年度以上**

⑦ 生産者支援のための食品販売促進（クラウドファンディング等）

・コロナ感染拡大により被害を受けた生産者を支援するため、クラウドファンディング等を活用した食品販売促進に取り組む

従来からの取り組みの充実強化

① 実効性のある提言・要望活動の展開

・委員会･部会の総意を反映し、訴求先の納得感が得られるような提言･要望を取りまとめ、要望活動を展開する **KPI：要望事項の実現**

（5）情報通信委員会（事務局：産業振興部）

DX の推進、データ活用型社会の実現に向け、サイバーセキュリティ対策の推進、産業振興に資する人材育成、ICT 利活用による課題解決、地域情報化支援等に取り組む。

中期事業計画に紐づく取り組み

① データ活用型社会の実現に向けた九州 AI ビッグデータコンソーシアムの創設 ◆

KPI：提言取りまとめ

・九州 AI ビッグデータコンソーシアム創設に向けた支援
・サイバーセキュリティ推進 WG の運営とセミナー、勉強会の継続開催
・サイバーセキュリティ地域コミュニティの拡大に向けた「地域 SECUNITY」事業への支援ならびに参画

② データ活用型社会に資する人材育成

・経営層の DX に対する学びの場の提供（九州オープンイノベーションセンター等と連携した経営層向けセミナー、勉強会の実施支援）

KPI：経営層への DX 学びの場の提供

・産学官連携の ICT 利活用人材育成（大学・企業と連携したインターンシップの実施による学生の社会・地域との接合の場の提供、大学と連携したリカレント教育の実施支援やデータ利活用研修等による社会人の学び直しの場の提供）

KPI：継続した ICT 利活用人材育成機会の提供

・他機関と連携した教育の場の拡大（大学研究機関や経済団体等とのコミュニティを拡大し、新たな教育の場を創出）

KPI：新たな連携機関(コミュニティ)の拡大 1 件以上

従来からの取り組みの充実強化

① DX 推進等による生産性向上に向けた取り組み支援

・各部、各委員会の課題や事業への DX 推進支援
（ICT 利活用による課題解決）
⇨ 観光･サービス産業部「ツール･ド･九州･山口 2023、九州未来温泉図 PJ」
⇨ 農林水産部「スマート農林水産業」
⇨ 社会基盤部「次世代交通システム（MaaS 等）」

KPI：課題に対するソリューションの提示

② 関連機関と連携した地域情報化支援活動

・情報化推進関連機関と連携した域内の産業活性化に資する地域情報化支援活動および ICT 育成活動の推進
・九州地方自治体と連携した地域支援活動の推進

（6）交通委員会（事務局：観光社会基盤部）

「アジアに近い九州」という強みを活かした産業振興や、九州の一体的な発展に資する社会基盤を整備するため、アジアのゲートウェイとしての空港・港湾機能の向上や循環型高速交通網の整備促進等を推進する。

中期事業計画に紐づく取り組み

① 次世代交通システム導入等による地域交通課題解決の事例づくり(MaaS)

・「きやま地方創生モビリティ研究会」の開催による方向性の確定と実証に向けた支援活動

KPI：政府予算獲得による実証

② 九州の空港施策の方向性を検討するプラットフォームの立ち上げ

・九州の空港施策の方向性を検討するための情報交換の場の設置

KPI：勉強会の立ち上げと情報共有

③ 九州新幹線西九州ルート暫定開業と今後の整備促進に資する取り組み

・2022 年度の部分開業(長崎～武雄温泉間)を控え、さらなる整備促進に向けた機運醸成を目的としたシンポジウムの企画･実施（集客開催）

KPI：整備の進捗

④ 高規格幹線道路網の整備促進、下関北九州道路の進展

・東九州自動車道の整備促進に向けた効果的な大会・要望活動の実施

KPI：南郷～奈留間の事業化

・下関北九州道路の整備促進に向けた効果的な大会・要望活動の実施

KPI：環境アセスメント開始

従来からの取り組みの充実強化

① 域内交通基盤の着実な整備

・交通課題の的確な把握と早期解決に向けた効果的な要望活動の実施

KPI：要望項目の実現

（7）国際委員会（事務局：国際部）

九州がアジア等海外諸国の成長とともに発展するため、海外政府機関・海外経済団体との間で締結した MOU（11 か国・地域）等を活用し、九州の中小企業等の海外ビジネス展開の実現に向けた環境整備や対日投資の誘致、諸外国とのネットワーク強化を図る。

中期事業計画に紐づく取り組み

① 海外販路の共通化、海外展開ノウハウのプラットフォーム構築 ◆

KPI：九州と RCEP 参加国との貿易総額（輸出・輸入合計）5.8 兆円

※2019 年水準の回復

・第 19 回環黄海経済・技術交流会議の開催
・シンガポール経済交流ミッションの派遣
・ベトナム経済交流ミッションの派遣
・九州プロモーションセンターin ハノイの支援
・フィリピン招聘事業の実施
・ベトナム地方都市 PR セミナー、その他 ASEAN 諸国との経済交流セミナーの開催
・中国市場等への九州産食品の販路拡大のための商談会の実施
(農林水産委員会との協働)
・海外展開支援施策説明会の開催
・本格焼酎・泡盛の海外販路開拓（Kura Master 招聘事業の実施、本格焼酎・泡盛輸出促進ネットワークの設立）

② 国際金融機能の誘致（TEAM FUKUOKA）◆
・MOU ネットワーク、国際部所管の会議体等を活用した活動周知および支援

③ 共助の輪をつなぐ施策の拡充
・九経連スマイルプロジェクトの一環として、各国領事館等のニーズを受け外国人留学生応援施策「スマイルフェア（各国物産フェア）」を開催

（8）行財政委員会（事務局：地域政策部）

域内企業の競争力強化と地域経済活性化を図るため、スマートシティモデル構築の推進や地方創生に向けた提言活動を実施するとともに、行財政に関わる諸課題に取り組む。

中期事業計画に紐づく取り組み

① 国際金融機能の誘致（TEAM FUKUOKA）◆
・制度、ビジネス環境、生活環境、プロモーションなど TEAM FUKUOKA が掲げる 12 の課題対応に向けた福岡市、福岡地域戦略推進協議会との連携活動の実施 **KPI：政府への要望活動実施**

② 幸せコミュニティ指標の開発とロードマップ作成 ◆
・幸福度指標の調査・研究による九州のありたい姿に相応しい指標の検討
KPI：指標の見極め・関係者合意
・幸福度向上に向けた課題の洗い出しとロードマップ作成
KPI：ロードマップ作成

③ 分散型・広域連携の促進（レジリエンス対応を含む）◆
・道州制に代わる新たな広域行政の全体構想作成に向けた関西広域連合事例調査等による課題の洗い出しと九州の方向性の整理
KPI：「新たな広域連携体」を検討する WG 設置
・九州地方知事会の政策連合での防災・減災・感染症対策に対する経済界としての課題整理とバックアップ体制案作成 **KPI：バックアップ体制案作成**

④ **FUKUOKA Smart EAST 構想の実現**

・政府スーパーシティ構想指定に向けた福岡地域戦略推進協議会との連携による経済界としての要望活動等の実施

KPI：九州スマートシティフォーラム(仮称)開催 1 回

・会員企業への情報発信とプロジェクトへの参画促進策の実施

KPI：実証実験の実施 1 件

従来からの取り組みの充実強化

① **SDGs 経営の普及促進**

・九州 SDGs 経営推進フォーラムと連携した、地域企業の持続的な企業価値の向上や社会課題解決による九州地域の持続的発展に向けた各種施策の実施 **KPI：フォーラムの開催 1 回**

② **コーポレートガバナンスの課題整理**

・東京証券取引所によるコーポレートガバナンスコード改定に伴う域内企業の課題の整理に基づく提言の実施 **KPI：提言実施**

③ **政府等への要望**

・「自民党予算・税制等に関する政策懇談会」での予算措置・税制改正・規制緩和などの提言実施 **KPI：提言実施**

（9）少子高齢化・雇用委員会（事務局：地域政策部）

多様な人材の活躍と働き方の活用を促進して企業の対応力向上を支援する。

中期事業計画に紐づく取り組み

① **女性活躍のための雇用規約・運用・意識改革の重層的取り組み** ◆

KPI：女性活躍の課題や阻害要因の体系的整理完了

・「KYUSHU NEXT」開催
・WE-Net とのアライアンスによる女性活躍課題の抽出
・国・自治体連携による待機児童問題の課題抽出
・女性活躍ロールモデルの定期的な情報発信

② **外国人が活躍できる意識の醸成と仕組みづくり**

・九州域内の大学と連携した留学生の域内就職率の向上
・韓国全経連との連携による韓国人大学生の九州就職支援

KPI：九州への就職者数 15 名

③ **働き方、雇用の多様性の推進**

・地方創生事業としての副業推進
・基礎自治体活性化のための「ふるさと納税人材派遣」スキームの普及

KPI：事例創出 1 件

・シニア活躍拡大のためのプラットフォームづくり

従来からの取り組みの充実強化

① **男女出会い機会拡大による婚期創出**　　**KPI：アプリ登録者数 300 名**

・専用マッチングアプリ活用による九経連事業者間の登録・成約推進

② **日中遠隔医療受診事業の推進**　　**KPI：受入件数 20 件**

・WeChat によるセカンドオピニオン受入リリース等

（10）関門連携委員会（事務局：観光社会基盤部）

九州と本州の連携を強化し、関門地域の一体的発展を図るため、下関北九州道路の早期実現に向けた整備促進大会や要望活動を展開するとともに、地域振興のための発展戦略について調査・検討を行う(中国経済連合会との合同委員会につき、同連合会との連携による)。

中期事業計画に紐づく取り組み

① **地域振興策の検討**

・関門地域の発展戦略の調査検討と要望活動の実施

KPI：委員会による調査検討項目の整理と要望項目への取り込み

② **下関北九州道路の早期実現**

・「下関北九州道路建設促進協議会」(事務局：九経連)、「下関北九州道路整備促進期成同盟会」などと連携し、下関北九州道路の早期実現に向けた要望活動を実施　　**KPI：環境アセスメント開始**

（11）各地域委員会（事務局：地域政策部）

各地域の産業経済に関する諸問題を調査研究し、意見を取りまとめ、九経連全体としての活動に反映することにより、その解決、実現を図ることを目的として、地域に根差した魅力ある九経連活動を展開する。

KPI：上期中の各地域でのビジョンに関する意見交換

① **地域に根差した活動強化**

・九経連全体の地域課題解決プロジェクトとの協働・連携事業

・講演会、視察会等による調査研究、会員意見交換会を通じた地域課題の抽出と九経連活動への反映

・会員相互の交流・連携の促進

2 九州地域戦略会議

（1）九州地域戦略会議

第 39 回：2021 年　5 月 18 日～19 日／宮崎市
第 40 回：2021 年 10 月 21 日～22 日／鹿児島県

○ 官民一体となった九州独自の発展戦略の研究や具体的施策を推進する。

・メンバー：九州地方知事会（各県知事）、九経連会長および会長が指名する者、九州商工会議所連合会会長および会長の指名する副会長、九州経済同友会代表委員、九州経営者協会会長

・テーマ　：「新型コロナウイルス感染症への対応と九州創生について」・「第 2 期九州創生アクションプラン（JEWELS＋）」（しごとづくり、新技術挑戦、人材活躍、次世代育成、地域活力づくり、安心･安全等）のフォローアップ、「ツール･ド･九州･山口 2023」の実施概要決定と実行

（2）第 18 回夏季セミナー（2021 年 7 月 29 日～30 日／那覇市）

○ 産官学のトップリーダーが一堂に会し、九州の発展に向けた共同体意識を醸成し、様々な課題について討議・提言を行う。

・メンバー：九州地方知事会（各県知事以下三役等）、域内大学学長、各県議会議長、経済 4 団体の会員企業など

3 懇談会等

（1）沖縄連携フォーラム（2021 年 12 月 13 日／那覇市）

○ 沖縄県経済団体会議との共催により、九州・沖縄の連携と両地域の相互理解、共通課題について意見交換、検討を行うとともに、解決を図る。

（2）九州経済懇談会（2021 年 4 月 20 日、2022 年 3 月 9 日／福岡市）

○ 日本経済団体連合会（経団連）との共催により、わが国ならびに九州地域が当面する課題について、意見交換する。

（3）産学連携懇談会（2021 年 4 月 27 日／福岡市）

○ 九州の発展戦略や産学連携に関する諸課題について意見交換する。

（4）九州経済を考える懇談会

○ 九州の経済団体※の長が、九州経済の現状と重要課題について共有するとともに、課題の解決に向けた方向性について議論する（年 2 回程度）。

※九州の経済団体：九経連、九州商工会議所連合会、九州経営者協会、九州経済同友会、九州オープンイノベーションセンター、九州経済調査協会

4 事務局

（1）全体的な取り組み

① 「九州将来ビジョン」で掲げた「2030 年のありたい姿」の実現に向けた活動を推進するとともに、着実に PDCA サイクルが回せるよう実行フォローの仕組みを整備し、必要に応じ組織改編を行う。さらに、九州全体での活動につなげていくための浸透活動も推進する。

② 大規模スポーツ大会等のイベントを活用した九州エリアの活性化対策を実施する。
・文化プログラム（KIMONO プロジェクト、九州・沖縄文化力推進会議等）の取り組みを支援する。

（2）会員サービス

① 国の政策や九経連の取り組みなどを特集し、タイムリーに情報提供する。

② 新入会員交流会を開催し、相互交流を図る。

③ 九経連「九州女性の会」（会員企業の女性経営者および女性管理職が参加）の活動を支援する。

④ 九経連全体の取り組みに関して会員へのアンケートやヒアリング等を行い、事業計画（中期、単年度）などに反映し、実行に移していく。

（3）広報

① 主要な取り組み、活動スケジュール等をタイムリー、かつ効果的に報道機関に提供する。

② ホームページをリニューアルし、情報発信力を強化することで本会活動への参画者増につなげる。

③ 月報「あすの九州・山口」に寄稿や特集頁を増やして内容の充実を図り、会員にとって役立つ情報誌とする。

（4）調査・研究等

① 域内各県等の取り組み状況を把握し、県域を越えた連携や官民連携などの可能性を探る。

（5）その他

① 地域の課題解決に貢献できる高い政策立案能力を持った人材育成に関する九州大学の取り組みに協力する。
（地域政策デザインスクール実行委員会）

（付 1） 海外調査団・経済交流訪問団派遣等

（1）九州・シンガポール経済交流ミッション派遣

・趣　　旨： シンガポールビジネス連盟(SBF)との MOU を基に、貿易・物流･金融の分野で東南アジアのハブであり、またイノベーション最先端都市であるシンガポールに訪問団を派遣し、九州企業のビジネス拡大を図る。
・時　　期： 2022 年 2 月 (予定)
・派 遣 先： シンガポール
・団　　員： 会員企業を中心に 30 名程度
・主　　催： 九州経済国際化推進機構（事務局：九経連、九州経済産業局）

（2）九州・ベトナム経済交流ミッション派遣

・趣　　旨： ベトナム計画投資省(MPI)との間で締結している MOU に基づき、継続的な交流を深めている中、さらなる相互間の地域経済交流の促進を図る（当初 2020 年 3 月派遣予定であったが一旦延期し、内容を一部見直した上で本年度実施予定）。
・時　　期： 2022 年 3 月 (予定)
・派 遣 先： ベトナム・ハノイ、ハイフォン（予定）
・団　　員： 九経連会長、九州経済産業局長ほか 40 名程度
・主　　催： 九州経済国際化推進機構（事務局：九経連、九州経済産業局）

（付 2） 関連団体の活動

（1）西日本経済協議会　(幹事：九経連)

（総　　会：2021年10月20日／熊本市
要望活動：2021年11月17日／東京）

○ **北陸、中部以西の 6 つの経済連合会※が連携して、西日本地域の共通の課題解決に向けた取り組みを展開するとともに、国等に要望する。**

※6つの経済連合会：北陸経済連合会、(一社)中部経済連合会、(公社)関西経済連合会、(一社)中国経済連合会、四国経済連合会、(一社)九州経済連合会

（2）九州・沖縄地方産業競争力協議会

**（会　長：九経連 会長、
事務局：九州地方知事会、九州経済産業局、九経連 経営管理室）**

○ **日本再興戦略の趣旨のもと、2014 年 3 月の協議会において九州地方知事会と九州経済界、国の出先機関の 3 者が議論し「九州・沖縄地方成長産業戦略～九州・沖縄 Earth 戦略～」を取りまとめた（目標年度 2020 年度）。**
○ **上記第一期戦略終了に伴い、第 10 回協議会（2021 年 3 月 23 日）において、次期「九州・沖縄地方成長産業戦略～九州・沖縄 Earth 戦略Ⅱ～」を新たに策定した（目標年度 2025 年度）。**

＜地域の産業戦略 4 分野と横断的取り組み（産業人材、創業等）および協議会における KPI＞

① クリーン（エネルギー・次世代自動車・環境）分野
・九州における再生可能エネルギーの産業の拠点化等の推進
② 医療・ヘルスケア・コスメティック分野
・九州におけるヘルスケア、創薬、バイオ産業等の振興の推進
③ 農林水産業・食品分野
・九州の農林水産物等の輸出額を2025年に2,200億円にする
④ 観光分野
・九州を訪れる外国人旅行者数を2023年までに786万人に拡大する
⑤ 横断的取り組み
・SDGs：九州企業のSDGs経営の取り組みを支援、促進する
・創業・ベンチャー：九州における開業率を、2023年度までに11%にする
・先端技術：先端技術やビッグデータを活用した地域課題の解決
・ダイバーシティ経営：イノベーション創出ための全員参加型社会の実現

（3）福岡地域戦略推進協議会　（会長：九経連 会長）

○ 福岡地域戦略推進協議会（Fukuoka D.C.）の活動※に経済界として参画し、意見出しや支援を行う。

※福岡の地域経済をグローバル化し、活力を維持強化していくため、福岡都市圏を中心とした産学官民が一体となった公共的な場（プラットフォーム）において、地域の成長戦略の策定から実施までを一貫して行う。

（4）下関北九州道路建設促進協議会

（会長：九経連 会長、事務局：九経連 観光社会基盤部）

○ 関門地域の一体化と交流拡大、地域経済の活性化に寄与するため、下関北九州道路の早期実現を目指し、以下の活動を実施する。

① 下関北九州道路の必要性や重要性を広くアピールし、早期実現に向けた機運を一層高めるため、関門連携委員会(九経連、中国経済連合会)、下関北九州道路整備促進期成同盟会などと連携して、整備促進大会を実施
② 環境影響評価や都市計画決定の手続きへの移行に向け、国による調査検討を迅速かつ着実に行ってもらうべく、関門連携委員会、下関北九州道路整備促進期成同盟会などと連携して、要望活動を実施
③ 事業化のための課題と対応策について、下関北九州道路整備促進期成同盟会などの関係機関と意見交換

（5）東九州軸推進機構

（会長：九経連 会長、事務局：九経連 観光社会基盤部）

○ 東九州地域の産業・経済をはじめとする地域社会の活性化を図るため、高規格幹線道路による循環型高速交通ネットワークの整備等を目指し、以下の活動などを実施する。

① 東九州自動車道の全線開通等の早期実現のため、東九州自動車道建設促進協議会と連携して、東九州自動車道建設促進地方大会および中央大会、提言活動を実施
② 東九州自動車道「清武南～日南北郷間」および「志布志～鹿屋串良間」、「一般国道220号　日南･志布志道路」および「一般国道220号 油津･夏井道路」の早期完成、加えて「南郷～奈留間」の早期事業化とともにすべての暫定二車線区間の四車線化、ならびに東九州地域の産業経済の活性化に資する社会資本整備の促進に関する要望
③ 東九州地域における交通インフラの整備促進に係る事業(特別事業)に対する支援・協力

（6）九州航空宇宙開発推進協議会

（会長：九経連 会長、事務局：九経連 産業振興部）

○ **九州地域の航空機産業の育成･拡大と宇宙産業の創出を図るため、産学官が一体となって技術レベルの向上や受注獲得のためのアプローチ支援等を行う。**
○ **設立 30 周年を迎える 2022 年に向け将来ビジョン検討委員会を立ち上げ、今後取り組むべき事業・研究テーマについて 2021 年度中に検討する。**

＜航空宇宙産業の振興＞
① 航空機部品等の多工程一貫生産を可能とする航空機部品クラスターを形成・増強し、参入支援ならびに販路拡大を支援
② 小型電動航空機の研究開発促進、事業化を見据えた検討

＜宇宙技術の地域振興への活用＞
① 衛星データ活用による地域課題解決(一次産業の生産性向上、被災状況の把握等)を促進する産学官プロジェクトの推進
② 内之浦射場等の九州域内施設を活用した宇宙技術開発、試験製造、打ち上げ、利用ビジネスのフィールド構築のための環境整備に向けた研究活動、国・関係団体への要望活動
③ 九州経済産業局との共催による、九州宇宙戦略推進会議セミナーの開催

＜人材の育成＞
① 若手人材育成を目的とした種子島ロケットコンテストの開催

（7）九州経済国際化推進機構

（会長：九経連 会長、事務局：九経連 国際部、九州経済産業局）

○ **九州の国際化･グローバル化に向け、九州経済産業局、九州各県、企業などとの連携を図り、国際会議や海外との交流事業を実施する。**

① 4年ぶりのホスト国として熊本で開催する「環黄海経済・技術交流会議」などアジア各国・地域との交流事業の実施
② シンガポールビジネス連盟（SBF）とのMOUに基づき、シンガポールに経済交流ミッションを派遣し、九州への投資誘致プロモーションを実施
③ ベトナム計画投資省（MPI）との間で締結しているMOUに基づき、ベトナムに経済交流ミッションを派遣
④ フィリピン投資委員会（BOI）とMOUを結んだ次のステップとして、招聘事業（経済セミナー等）を実施
⑤ ベトナム、タイなどアジア各国・地域とのMOUに基づくセミナーや交流事業の実施
⑥ 日EU　EPA発行を踏まえ、今後輸出のポテンシャルを有する九州産本格焼酎等の認知度向上と販路拡大のため、本格焼酎・泡盛輸出促進ネットワークを設立。セミナーや意見交換会、商談会、Kura Master本格焼酎・泡盛部門現地授賞式等を開催

⑦ 九経連と中国・山東省商務庁との会議や日本産牛肉の中国への輸出再開等の動きを契機に、中国主要都市における販路開拓事業を実施
⑧ JICA やジェトロなど支援機関と連携した海外展開支援施策に関する説明会や域内の起業マインドを醸成するためのセミナー等を実施
⑨ 九州の投資・ビジネス環境情報をホームページ等で発信
⑩ グローバル人材活用支援事業の実施

（8）九州・沖縄文化力推進会議

（事務局：福岡県、九経連 地域政策部）

○ **九州･沖縄･山口各地域における文化活動の推進と文化の発信による地域活性化に官民が連携して文化プログラムを実施する。特に、今後開催される大規模国際スポーツイベント等を見据え、国内外から訪れる観光客に対し、新型コロナウイルスへの対応も鑑みながら、九州･沖縄･山口の各種文化をＰＲしていくとともにエリア内の周遊を促す。**

① 各大規模国際スポーツイベントと連携した九州・沖縄・山口の各種文化の魅力発信
② 文化施設への誘客およびエリア内周遊促進に向けた「ミュージアム周遊パス」の作成・活用
③ 各県が連携した伝統文化の情報発信や小中学校の修学旅行等における各県文化施設の活用促進

（9）九州大学学術研究都市推進協議会

（会長：九経連 会長、事務局：九州大学学術研究都市推進機構）

○ **九州大学学術研究都市構想の総仕上げに向けて産学官民がより一層連携し、新たなフェーズを迎える学術研究都市づくりを推進する。**

① 知の交流・創造活動によるイノベーション・エコシステムの構築
② 快適で質の高いライフスタイルを実現する環境整備
③ 世界・アジアとの交流（ネットワーク構築）
④ 九州大学学術研究都市のシティプロモーション

（10）ILC アジア－九州推進会議

（代表：九経連 会長、事務局：九経連 地域政策部）

○ **九州での国際リニアコライダー（ILC）※計画の実現を目指し、行政・大学等との連携を図る。**

※ 国際リニアコライダー(International Linear Collider)：
全長約30～50㎞の地下トンネルに直線加速器を設置し、電子と陽電子をほぼ光速度まで加速して衝突させることでビックバン(宇宙のはじまり)直後の状態を再現する大規模研究施設。ヒッグス粒子の性質解明や未知の粒子の発見、宇宙誕生の謎の解明につながると期待される。アジア、北米、欧州が協力し、世界に一か所建設を目指す国際プロジェクト。

（11）九州 IR 推進協議会

（会長：九経連 会長、事務局：九経連 観光社会基盤部、長崎県）

○ **「オール九州」「官民連携」の要素を盛り込んだ、九州・長崎 IR 区域整備計画を作成し、その実現につなげる。**

① ビジネスマッチング WG
- ビジネスマッチングの具体化
  [九経連、九州経済団体、地元金融機関] × IR 事業者の対話

② 九州観光周遊 WG
- 広域周遊観光コンテンツ開発、IR 内観光ショーケースの作り込み等
  [九経連、九州観光推進機構、九州経済団体、長崎県、佐世保市、その他]
  × IR 事業者の対話

（12）九州の食輸出協議会

（会長：弓場秋信・弓場貿易㈱社長、事務局：九経連 農林水産部）

○ **九州の生産者および食品製造業者等が九州に拠点を置く商社と連携し、海外需要の開拓を協働で行い、九州の農林水産物および食品等の輸出を推進する。**

① 海外への販路拡大
② 生産者等と地域商社との円滑な情報共有のためのプラットフォーム整備
③ 生産者等に対する輸出相談窓口
④ 生産者等に対する地域商社の紹介および地域商社に対する生産者等の紹介
⑤ 対象国への輸出拡大を目的とした国内外の展示会への出展
⑥ 会員間の連携や会員と生産者との連携による新商品開発・輸送・販売等の共同事業

（13）九州国際医療機構

（代表理事：赤司浩一･九州大学病院長、事務局：九経連 観光社会基盤部）

○ **健康保険制度の望ましい運用の下、医療分野の国際交流を推進することで、九州および日本の人々ならびに訪日外国人および在留外国人の健康・福祉の向上や、医療水準の向上ならびに経済発展に貢献する。**

（14）知的財産権研究会

（事務局：九経連 産業振興部）

○ **九州の産学官が一体となって知的財産権法をはじめとする様々な経済法の現状と課題について検討するため、毎月 1 回研究会を開催する。**